

運用自動化ハンズオン

～StackStormで実践するインフラ運用革命～

Internet Week 2017

2017-11-30 (Thu)

- 実際にStackStormを触ってみよう！
 - コンセプト・どんな自動化が出来るのかを理解する
 - st2の基本的なコマンドの使い方を知る
 - 既存のPack(ライブラリ)を使いこなしてWorkflowをつくり、障害の自動復旧をやってみる
- “参加者の方々により深いレベルでの理解と実際に「できる！」感覚を得てもらい、現場への導入のきっかけとなれる事をめざしています。”
- 今日の『続き』は是非StackStorm公式Slackにて！
 - <https://stackstorm.com/community-signup>
 - 日本語専用の #community-japan チャンネルあり☑

大山 裕泰

/Hiroyasu Ohyama

株式会社DMM.comラボ

アプリケーションエンジニア。最近はStackStorm、OpenStackなどのOSSへのTechnical Contributionを行う。
JANOG 33,34,38 で登壇。



萬治 渉

/Wataru Manji

NTTテクノクロス株式会社

OpenStackの運用保守やStackStorm、Ansibleによる自動化システム作りをしている。



杉本 周

/Shu Sugimoto

インターネットマルチフィード株式会社

StackStorm公式Dockerイメージ(st2-docker)のコミュニティメンテナ。st2活用事例↓
<https://goo.gl/4BdJaA>



管野 智祥

/Tomoyoshi Kanno

日商エレクトロニクス株式会社

ソリューションエンジニア。最近はStackStormやAnsible、クラウドサービスを用いた運用の自動化を展開。また、OpenStackやCloudStackの基盤運用も実施中。



本日お手伝いいただくTAの方々：

高橋 翔 (ヤフー株式会社)

高橋 祐也 (インターネットマルチフィード株式会社)

竹田 龍馬 (株式会社インターネットイニシアティブ)

山口 勝司 (さくらインターネット株式会社)

吉浜 丈広 (グリー株式会社)

松川 茂久

- 第三者の製品・サービスについて、特定の製造者やサービス提供者につき、製品やサービスを評価するものではありません。
- 本セッション内に含まれる事例は、あくまで発表者が所属する各社それぞれの事案であり、各社のシステム・サービス要件等によって、機能、パフォーマンスその他の面で該当しない場合があります。
- 本セッションは発表者および所属各社がそれぞれ構築した StackStorm に関する技術者の現時点での感想に基づいています。
- 無断複製・転載を禁じます。

時間		種別	内容
9:30 ~ 9:40	10分	プレゼン	イントロダクション
9:40 ~ 10:00	20分	ハンズオン	Part 0: インスタンスへのログイン・環境確認
10:00 ~ 10:25	25分	プレゼン	StackStorm 概要
10:25 ~ 10:30	5分		休憩
10:30 ~ 11:15	45分	ハンズオン	Part 1: st2コマンドチュートリアル
11:15 ~ 11:20	5分		休憩
11:20 ~ 12:00	40分	ハンズオン	Part 2: アラートを受け取る(Sensu)
12:00 ~ 13:15	75分		お昼休み
13:15 ~ 14:05	50分	ハンズオン	Part 3: ルーターにコマンドを送る(Napalm)
14:05 ~ 14:10	5分		休憩
14:10 ~ 14:55	45分	ハンズオン	Part 4: Workflowを作る
14:55 ~ 15:30	35分	プレゼン	実運用例の紹介(AD認証, 冗長構成, バージョンアップ)
15:30 ~ 15:45	15分	プレゼン	有償版Workflow Composerの紹介

- 資料：

https://github.com/internetweek2017-st2/handson_documents

- ハンズオン中に打つコマンド等も全てテキストで用意していますので、コピペにご利用ください。
- セッション終了後も残ります。

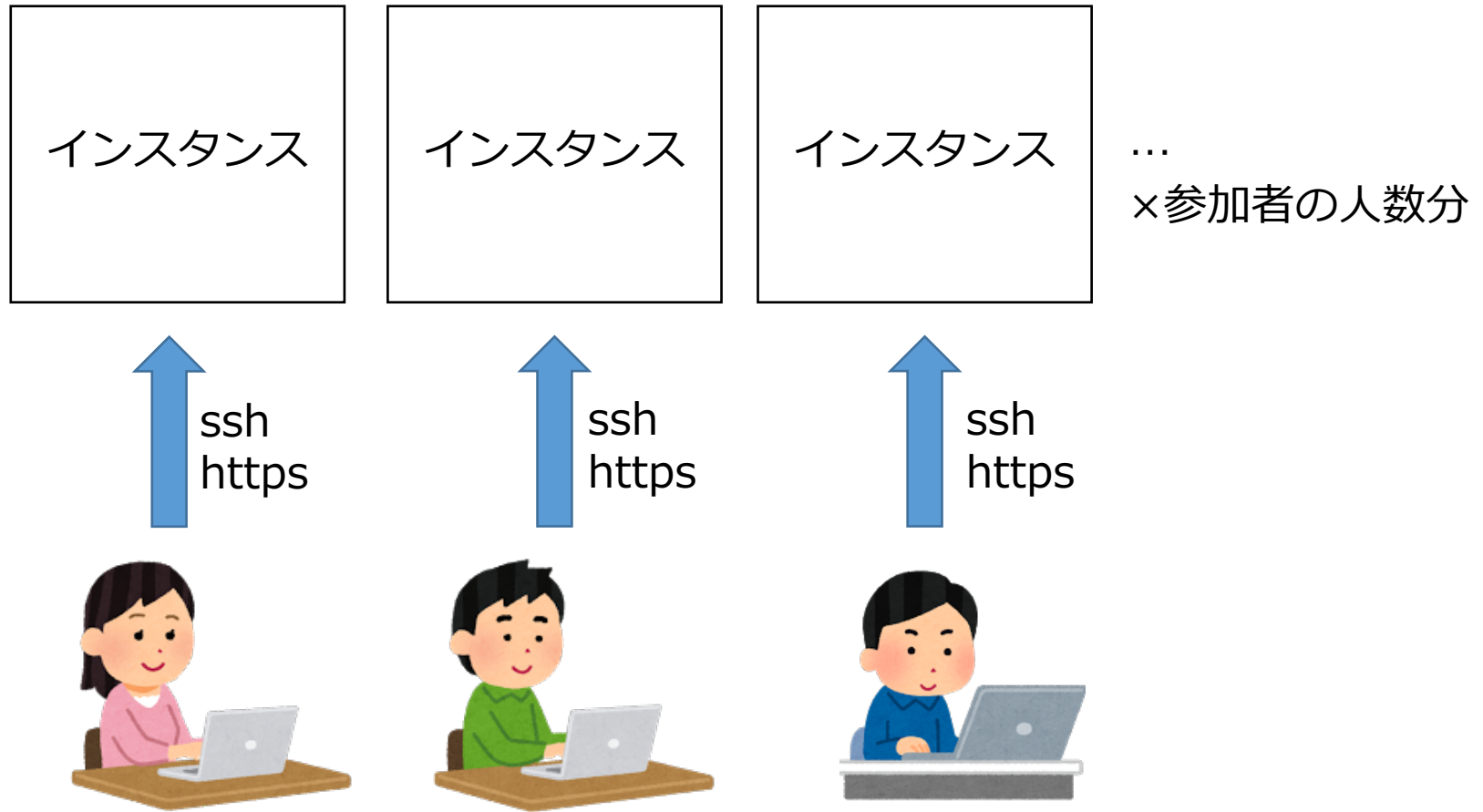
- Slack:

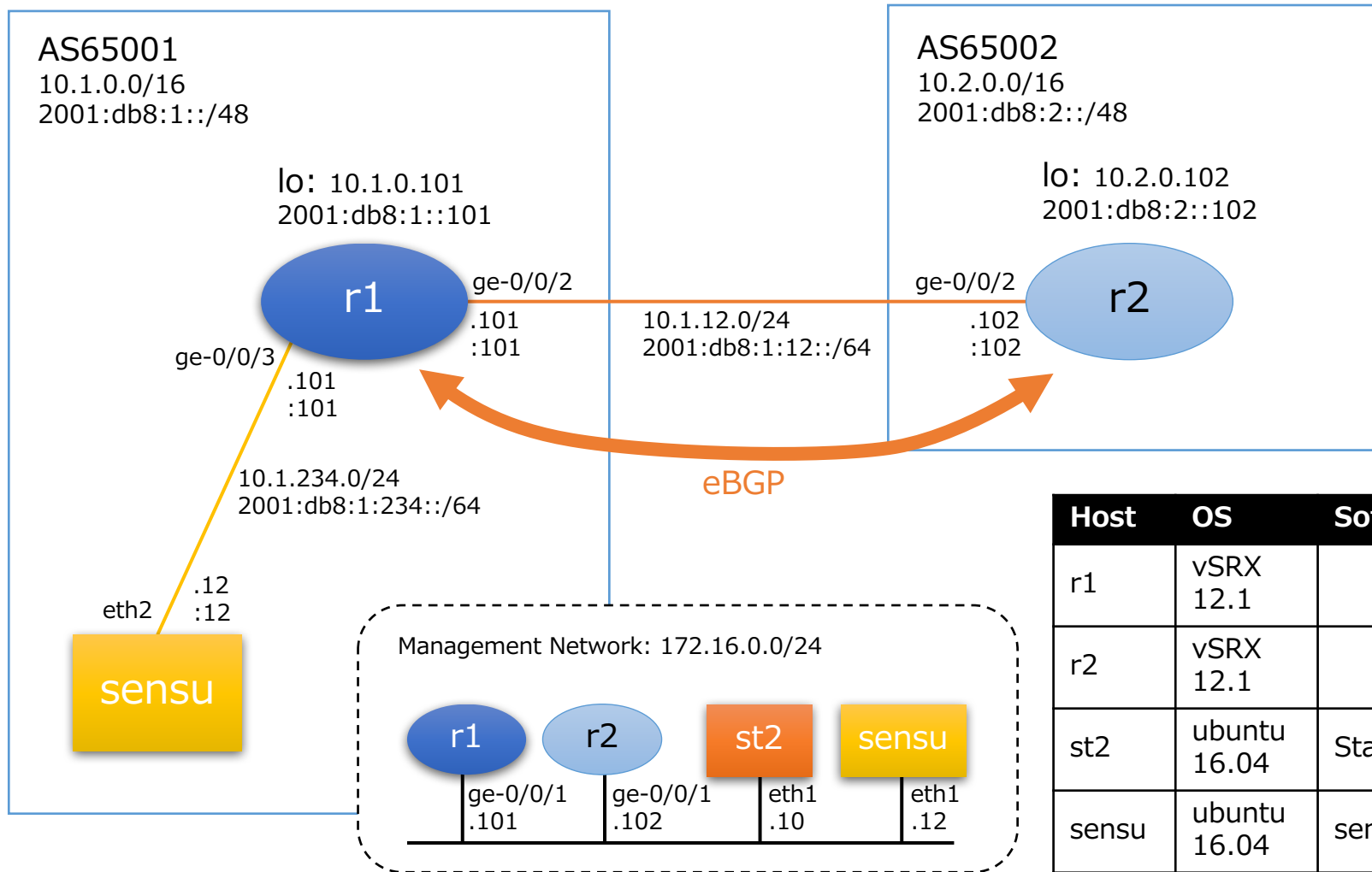
<https://st2-hands-on.slack.com>

登録用リンクはIW参加者専用
サイトをご覧ください。

- 質問等何でも気軽にどうぞ。
- ハンズオンの中で実際にStackStormと連携させて使いますので、**必ずユーザー登録をお願いします**。
- セッション終了後に**削除されます**。

- 一人1台、専用のインスタンス(VM)を使います。自身に割り当てられたグローバルIPをご確認ください。





あなたのIPアドレス →

- インスタンスについて
 - セッション終了後、**インスタンスはすぐに削除されます！** 作業中に作ったファイル等で必要なものがある場合は、**時間内に各自で手元に保存をお願いします。**
 - インスタンス内に作成された環境(st2, sensu, r1, r2)はVagrantで再現可能です。発表資料配布サイト(githubレポジトリ)*¹内にVagrantfileがありますので、持ち帰ってご自身で試したい方はご利用ください。
 - インスタンスには会場ネットワークからのみアクセスが可能です。
 - インスタンスは基本的に自由に使って頂いて構いません。ただし自己責任をお願いします。
 - **インスタンスの再起動やVMの再起動はしないでください！** 環境が立ち上がってくるのに20～30分かかります。

*1 https://github.com/internetweek2017-st2/handson_documents

- Slackについて
 - セッション終了後、**ワークスペースはすぐに削除されます！**
発言された内容等で保存したいものがある場合は、**時間内に各自手で手元に保存をお願いします。**
 - 100%セキュアであることを保証することは出来ませんので、書き込み内容にはご注意ください(間違って機密情報を書かない、等)

ハンズオン Part 0

インスタンスへのログイン・環境確認



ハンズオン Part 0

- 以下のサイトに沿って進めます。

https://github.com/internetweek2017-st2/handson_documents

- 手元に以下が揃っているか確認しましょう。
 - あなたのインスタンスのIPアドレス
 - 当日、会場でお伝えします。
 - SSH秘密鍵
 - インスタンスにログインする際に必要です。
 - IW参加者専用サイトからダウンロード出来ます。
 - OpenSSH形式とPuTTY形式の2つを用意していますので、お使いになるクライアントに合わせて必要な方をダウンロードしてください。
 - 今日使うパスワード
 - StackStorm, Sensu Dashboard(uchiwa)にログインする際に必要です。
 - 当日、会場でお伝えします。
 - st2-hands-on.slack.com のSlackアカウント
 - IW参加者専用サイト、もしくは事前に送付したメール内に登録用のリンクがあります。

- 秘密鍵を使ってインスタンスにSSHでログインします。
- ユーザー名は **stormer** です。

OpenSSHの場合

```
ssh -o UserKnownHostsFile=/dev/null -o StrictHostKeyChecking=no ¥
<YOUR_INSTANCE_IP> -i /path/to/stormer.id_rsa -l stormer
```

間違って他の人のIPアドレスを掴むと後で悲劇が起きます。
ログインしたら**まず真っ先にlastコマンドを打って**、他の人のインスタンスに
間違って入っていないか必ず確認しましょう！

```
stormer@instance-group-1-db4g:~$ last
stormer pts/0      XXX.XXX.XXX.XX  Fri Nov 24 22:08  still logged in
reboot  system boot    4.10.0-38-generi Fri Nov 24 22:07  still running

wtmp begins Fri Nov 24 22:07:23 2017
```

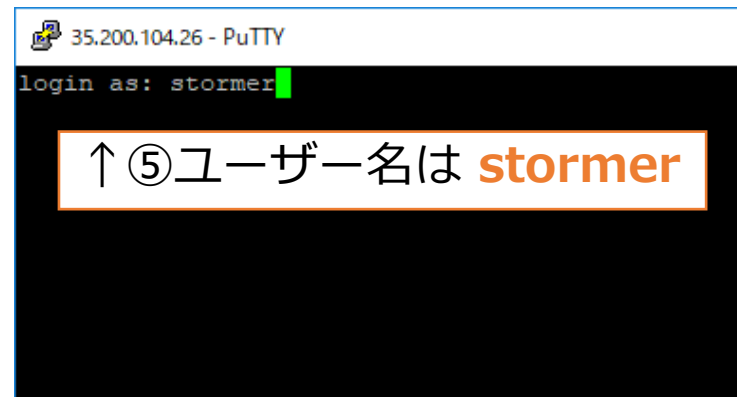
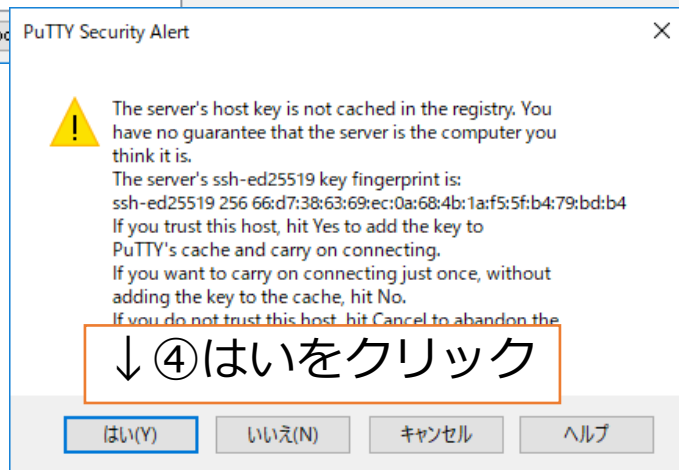
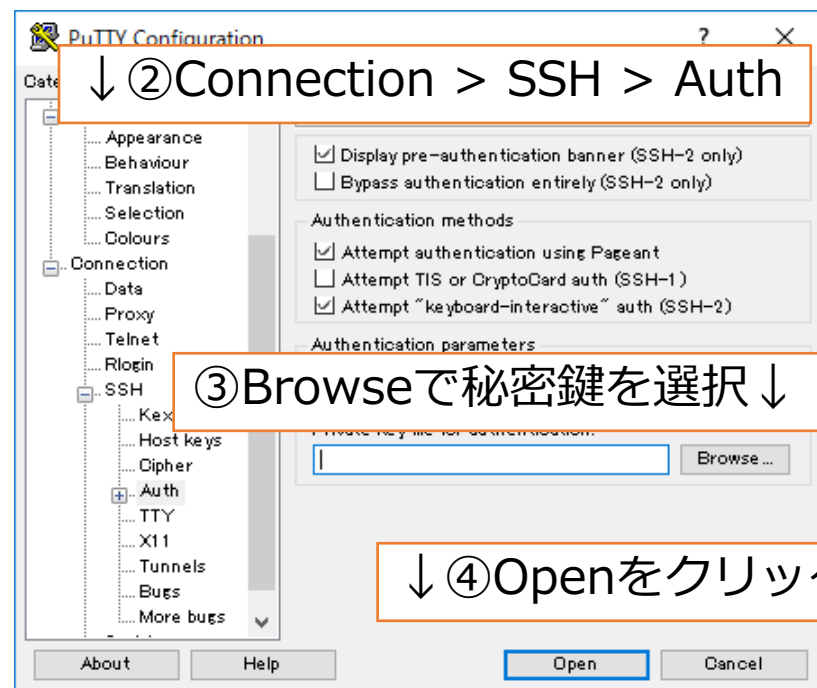
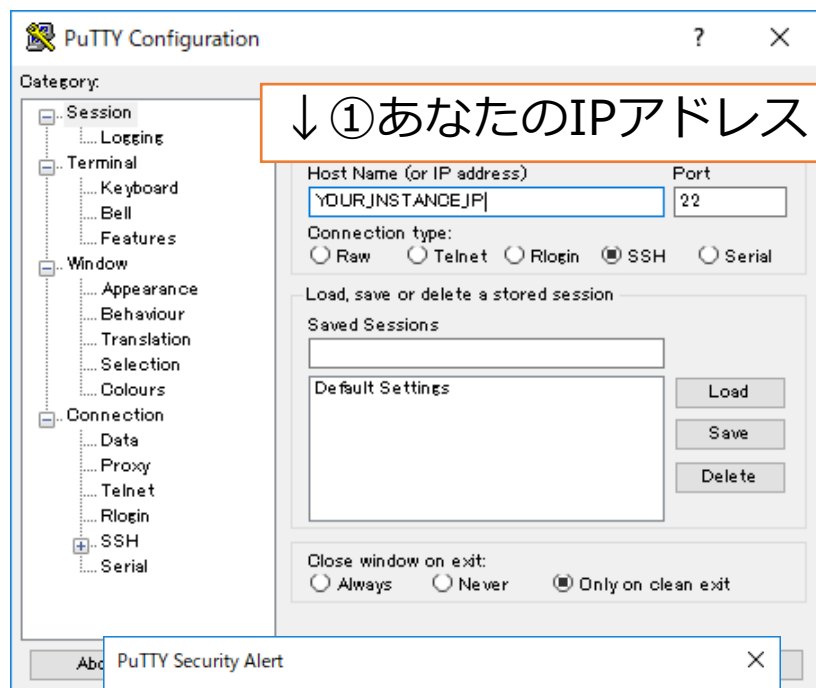
←1行ならOK

```
stormer@instance-group-1-db4g:~$ last
stormer pts/1      XXX.XXX.XXX.XX  Fri Nov 24 22:10  still logged in
stormer pts/0      XXX.XXX.XXX.XX  Fri Nov 24 22:08  still logged in
reboot  system boot    4.10.0-38-generi Fri Nov 24 22:07  still running

wtmp begins Fri Nov 24 22:07:23 2017
```

←2行以上
あったらNG！！※

※自身で2つ目以降のセッションを開いた場合は当然2行以上になります。その場合は問題ありません。



PPK(PuTTY)形式の鍵をダウンロード・使用してください！



↓ ①あなたのIPアドレス

②OKをクリック↑

②続行をクリック→

↓ ③ユーザー名は **stormer**

④秘密鍵を選択↓

↑ ②OKをクリック